

令和8(2026)年度 県南環境森林事務所の概要

守り



活かす



育て



目 次

目次	1
I 事務所の概要	
1 概要	2
2 業務指針	3
3 組織及び業務分担	3
II 施策の概要	
1 各課での取組	
【環境企画課】	
生物多様性の保全	4
野生鳥獣の保護管理	5
自然公園の整備	6
【環境対策課】	
良好な生活環境の保全と循環型社会の形成	7
【林業経営課】	
林業・木材産業の成長産業化	9
【森づくり課】	
多様で元気な環境の森づくり	11
アクセス	13

I 事務所の概要

1 概要

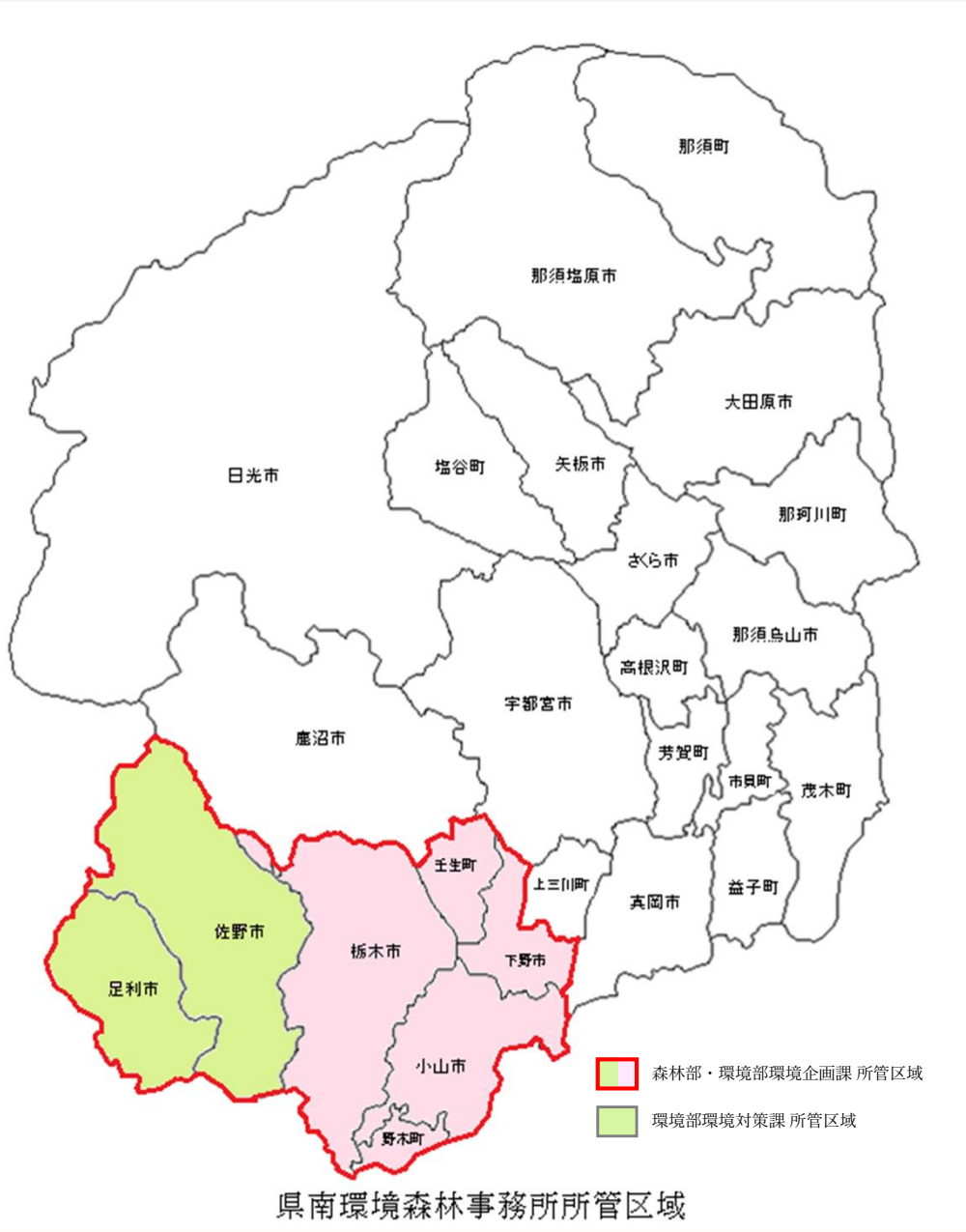
当事務所は佐野市の安蘇庁舎内にあり、県の南西部の5市2町を所管しています。

管内面積は約12万ヘクタール（県土面積の19%）で、人口は約70万人（県全体の37%）です。

管内の北西部は森林地帯が多く、その面積は約4万ヘクタールで、このうち民有林が96%を占めています。戦後、拡大造林が積極的に進められた結果、その52%がスギやヒノキなどの人工林となっており、人工林率の高い佐野市（61%）・栃木市（46%）・足利市（44%）を中心に県南林業地を形成しています。

管内の山岳部には3カ所の県立自然公園(足利、唐沢山、太平山)及び8カ所の自然環境保全地域が、平野部には3カ所の緑地環境保全地域が指定されています。

足利市・佐野市・小山市をはじめとした平野部の幹線道路沿いには市街地が形成され、多くの商業施設や企業・工場が立地しています。工業事業所は県全体の44%を占め、中小企業の多いことが特徴となっています。



2 業務指針

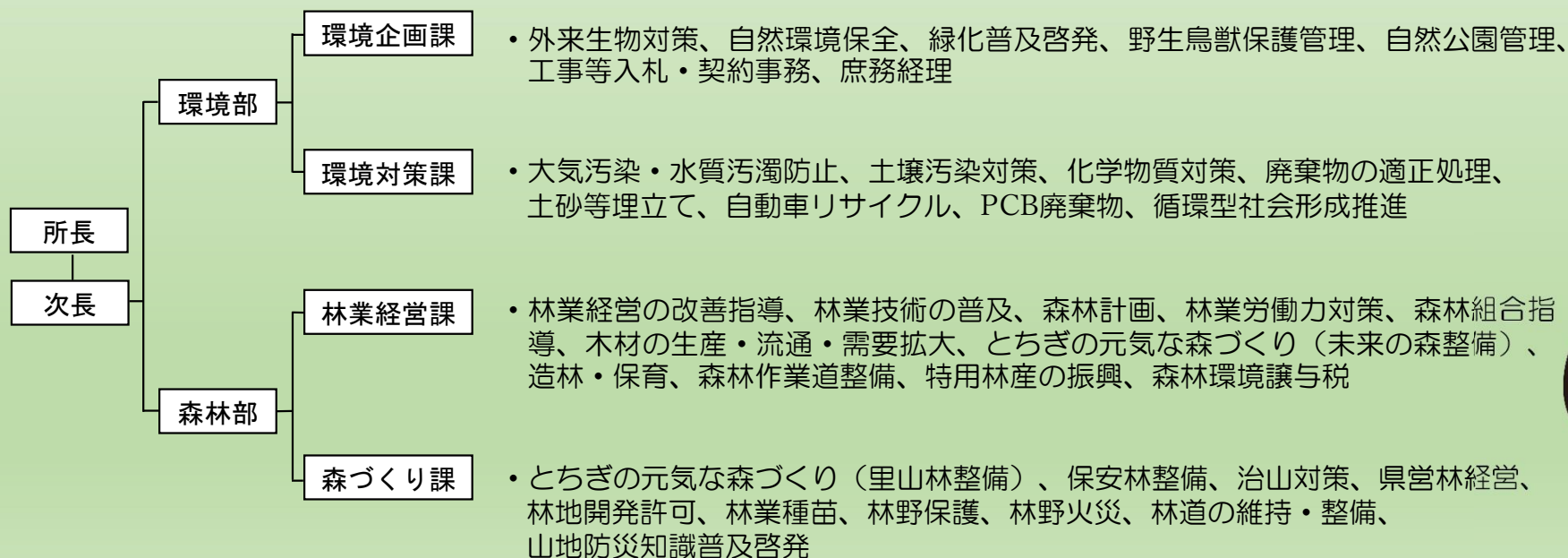
環境分野においては、2050年カーボンニュートラルの実現に向けた温室効果ガス排出削減対策等への取組や、サーキュラーエコノミー（循環経済）への移行による資源循環型社会の構築に向けた廃棄物の発生抑制・適正処理、資源循環の着実な推進が求められています。

また、森林分野においては、林地荒廃防止や水源涵養など森林の公益的機能を維持しながら「植えて育てて、伐って使って、また植える」といった森林資源の循環利用を図り、災害に強い健全な森づくりを進めるとともに、山村地域の雇用・所得の拡大及び定住化を図り、地域経済の活性化に寄与しながら、とちぎの元気な森を100年先の未来へ引き継いでいくことが求められています。

これらを背景として、当事務所では

- ◆ 資源循環型社会の構築に向けて、大気や水環境の汚染防止、廃棄物の適正処理対策等を推進し、地域環境の保全に努めます。
- ◆ 自然公園の適正な利用や生物多様性の保全、総合的な獣害対策により優れた自然環境の保全を図ります。
- ◆ 森林資源の循環利用の促進と未来技術を活用したスマート林業の導入等による林業・木材産業の成長産業化を推進します。
- ◆ 林地荒廃防止機能など公益的機能が発揮できる健全な森林をつくるため、森林資源の適切な管理、計画的な整備・保全を推進します。

3 組織及び業務分担



Ⅱ 施策の概要

1 各課での取組

生物多様性の保全

豊かな生物多様性を次の世代に引き継ぐため、ネイチャーポジティブ（自然再興）の実現に向けて、自然環境を大切にすることを意識を高め、県民との協働により多様な生態系を保全します。

クビアカツヤカミキリ等外来生物対策

特に管内で被害が甚大であるクビアカツヤカミキリについて、早期発見・早期防除のため、市町との緊密な連携を図り、防除実施者への指導を行っています。



クビアカ
ツヤカミキリ



防除方法の研修

地域で『みどり』のおもてなし事業

毎年度、管内の市町で植樹会・苗木配布等を実施しています。令和7年度は栃木市で開催しました。



植樹会の様子（栃木市）

【環境企画課】

自然環境保全地域等の管理

管内には、自然環境保全地域8カ所（県内29カ所）及び緑地環境保全地域3カ所（県内14カ所）が指定されています。

この地域では、建築物などの工作物の新築等や宅地の造成、土地の開墾などの土地の形質変更等を規制し、地域の優れた自然や緑地環境を保全しています。



氷室自然環境保全地域



作原自然環境保全地域



星野緑地環境保全地域

野生鳥獣の保護管理

「栃木県第13次鳥獣保護管理事業計画」等に基づき、野生鳥獣による農林水産業等の被害軽減を図るため、市町と連携して地域の実情を踏まえた被害防止対策や、捕獲の担い手である狩猟者の確保・育成等を推進しています。

また、野鳥における鳥インフルエンザのサーベイランス調査や傷病野生鳥獣に関する相談対応を行っています。

地域ぐるみの総合的な獣害対策

イノシシ等有害鳥獣捕獲への支援、とちぎ獣害対策アドバイザー事業を通して、地域ぐるみの獣害対策への支援を実施しています。



箱わなで捕獲されたイノシシ



鳥獣管理士による獣害対策の学習会

野鳥生息状況調査等

鳥インフルエンザの発生を早期に発見するため、野鳥の集まる場所における異常の有無の調査や基準に応じた死亡野鳥の回収・検査搬入を実施しています。



野鳥生息状況調査の様子

捕獲の担い手の確保・育成

狩猟免許試験等の開催、適正で安全な狩猟の普及啓発を行うとともに、鳥獣保護区等の管理に努めています。



特定猟具使用禁止区域の看板設置

傷病野生鳥獣救護

傷病野生鳥獣への対応を通じ、人と野生鳥獣の適切な関わり方について普及啓発を行っています。

野生鳥獣は生態系の一部であり、自然の中での生死がその重要な役割であるという原則を踏まえ、手出しせず見守ることを基本として、人為的な要因により負傷等した個体に限り救護を行っています。

自然公園の整備

県内8カ所の県立自然公園のうち3カ所を、県南環境森林事務所が管理しています。自然公園内の安全確保や老朽化した施設の復旧作業などを行い、管理に努めています。

①足利県立自然公園（足利市）

👉ココに注目

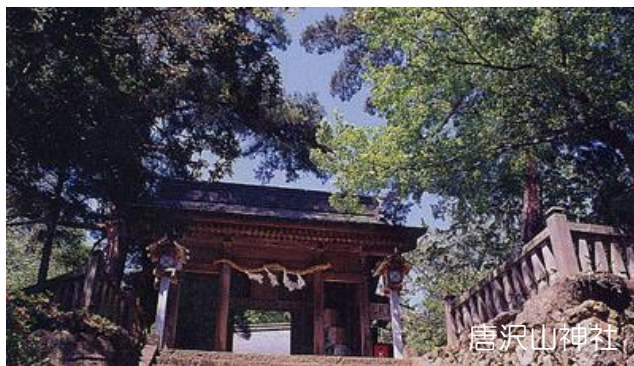
名草巨石群(名草弁天)は、巨大で丸い岩が点在しており、自然の神秘が感じられます。織姫山は季節の花が咲く憩いの場、織姫神社は恋人の聖地として知られる場所です。名草巨石群から織姫神社までのハイキングコースが整備されています。



②唐沢山県立自然公園（佐野市）

👉ココに注目

唐沢山山頂には、藤原秀郷が天慶3年(940年)頃に築城した唐沢城跡地があり、その本丸跡に唐沢山神社が創建されています。景観としては、唐沢山一帯の樹齢100年以上のカラマツと岩の織りなす自然、それを背景とする眺望があげられます。



③太平山県立自然公園（栃木市）

👉ココに注目

4月は桜峠に約4,000本のソメイヨシノ、5月は謙信平に一面のツツジ、6月は表参道(あじさい坂)に両側いっぱいのアジサイ、秋には山一帯が紅葉に染まり四季折々の植物などが楽しめます。



良好な生活環境の保全と循環型社会の形成

【環境対策課】

公害の未然防止や廃棄物の適正処理を指導することにより、良好な生活環境を保全し、循環型社会の形成に努めています。

大気・水・土壌環境の保全

大気汚染防止法、水質汚濁防止法及び土壌汚染対策法等に基づき、工場・事業場に対して、公害発生未然防止の指導を行っています。

また、異常水質事故（河川への油流出、魚類のへい死等）が発生した場合は、市・関係機関と連携して、発生状況や発生原因を迅速に把握するとともに、原因者に対する原因調査や流出防止措置の指導等を行っています。



立入検査での工場排水の採取



解体工事現場への立入検査



河川への油流出事故（発見時）

〈主な取組〉

- ◆ 工場・事業場に対する立入検査
- ◆ 石綿含有事前調査報告等に基づく解体工事現場に対する立入検査
- ◆ 異常水質事故発生時の現地調査、原因調査

廃棄物の適正処理の促進

廃棄物処理法及び栃木県廃棄物処理に関する指導要綱に基づき、事業者や廃棄物処理業者等に対して、産業廃棄物の適正処理を指導するとともに、資源循環の推進のため、廃棄物の再生利用に向けた事業者の育成を進めています。

また、不法投棄の監視に努め、不法投棄が判明したときは、事実関係を調査し関係機関と連携しながら、行為者等に対する不法投棄物の撤去を指導しています。



廃棄物処理施設の立入検査



建設廃棄物の不法投棄現場

〈主な取組〉

- ◆ 事業者や廃棄物処理業者等に対する立入検査
- ◆ 夜間休日監視、スカイパトロール、監視カメラ設置等の不法投棄防止対策

林業・木材産業の成長産業化

【林業経営課】

素材生産力の強化

充実した森林資源を有効活用し、増加する木材需要に corres 応するため、新技術の普及を図る研修会の開催や、高性能林業機械の導入を進め、生産効率の向上による林業現場における生産力強化を図っています。



スマート林業技術研修
最新測量機器の活用（佐野市）



スマート林業技術研修
ドローンによる苗木運搬
（佐野市）



高性能林業機械による伐採（足利市）

獣害対策の促進

管内は、皆伐後に植栽した苗木のシカによる食害など、林業における獣害が深刻であることから、被害を防ぐ様々な対策への支援を行い、健全な森林の育成を図っています。



植栽木への忌避剤散布（佐野市）



植栽木への食害防止チューブ設置(佐野市)



樹皮剥ぎ防止のためのネット巻き（佐野市）

県産材の安定供給と需要拡大

県産材の安定供給を図るため、製材や加工施設の整備を進めるとともに、中大規模建築物や店舗といった分野への木材利用を促進し、新たな需要の創出に取り組んでいます。



木材加工工場（栃木市）



公共施設の木造・木質化（足利市）



木材を現して使用：ラーニング commons（佐野市）

安全・安心な特用林産物の生産振興

生産振興を図るため、労働負担を軽減する生産技術の研修や生産基盤支援を行うとともに、定期的な検査による放射能対策を実施し、安全安心な特用林産物の生産を支援しています。



原木しいたけ生産ホダ場（佐野市）



菌床しいたけ栽培施設（栃木市）

多様で元気な環境の森づくり

【森づくり課】

森林は木材の供給源であると共に、水や空気を育み、災害を防ぎ、安らぎを与えるなど、私たちの生活にとって大切な働きをしています。このような大切な森林を守り、育て、未来へつなぐため、治山事業をはじめとする様々な取り組みを実施することで、公益的機能を発揮できる「元気な森づくり」を推進しています。

- 〈主な取組〉
- ◆ 治山事業による荒廃森林の復旧、山地防災講習会の開催
 - ◆ 保安林制度・林地開発許可制度の適正な運用
 - ◆ ナラ枯れ被害木の駆除及び健全木の予防への支援
 - ◆ 山火事防止のための啓発ポスター等の配布・掲示、広報車による呼びかけ

山地防災意識の普及啓発

毎年小学生を対象に、山地災害に対する意識を高めることを目的とした山地防災講習会を開催しています。スライドでの説明とともに、模型実験も行っています。令和7年度は栃木市の小学校で開催しました。



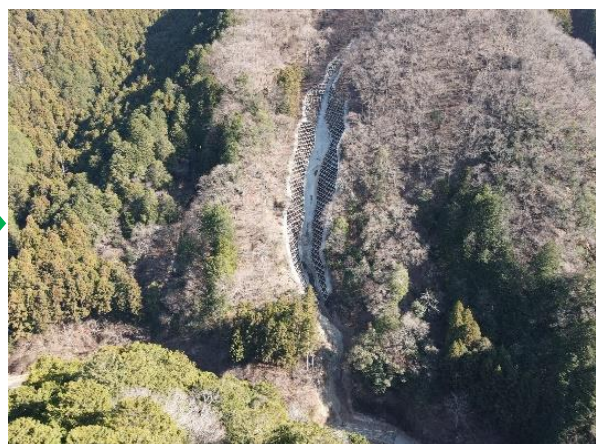
模型実験の様子



パワーポイントで説明



被災時の山林のようす(佐野市)



復旧工事完了後(佐野市)

災害に強い森づくり

頻発化・激甚化する豪雨に備えるため防災・減災に向けた治山対策に取り組み、「災害に強い森づくり」を進めています。

左の画像は、佐野市の地蔵山の復旧状況。長年通行止めとなっていた「林道作原作入線」開通の大きな一歩となりました。

ナラ枯れ被害対策

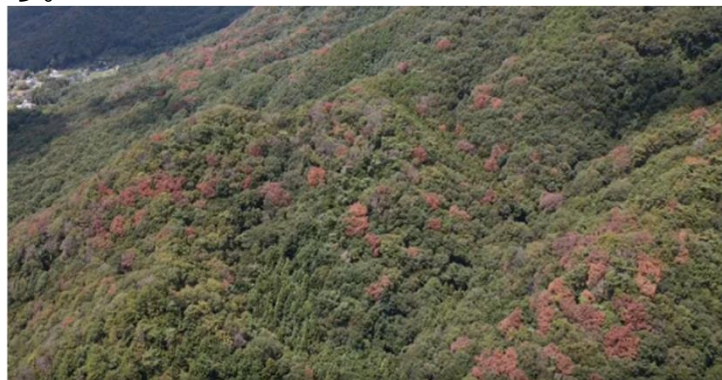
ナラ枯れ被害の拡大防止のため、市町と協力しながら早期発見・駆除による被害拡大防止を図りつつ、健全木の予防及び枯死木の倒木等の危険回避のための伐倒駆除を実施しています。なお、ナラ枯れの枯死木の付近にはカエントケ(さわると皮膚の炎症、食べると死亡例もある猛毒のきのこ)が発生することがあります。



カシノナガキクイムシ(左下)が穿孔したナラ枯れ被害木



根元に生えたカエントケ(栃木市)



ドローンによる被害地の把握(栃木市)



被害木の伐採(栃木市)

山火事防止のための普及啓発

山火事被害が多くなる時期(1月~5月)を中心に、山火事ポスターの配布・掲示やポケットティッシュ配布等を通し、山火事予防の意識を高めるための普及啓発を行っています。



山火事防止ポスター



山火事防止に係る普及啓発
ポケットティッシュの配布(足利市)



山火事の現場(佐野市)

アクセス・所在地



栃木県南環境森林事務所

〒327-8503

栃木県佐野市堀米町607 栃木県庁安蘇庁舎内2階

TEL 0283-23-1441 (代表)

FAX 0283-22-5113

E-mail kennan-ksj@pref.tochigi.lg.jp